

【宮沢 大志 選手 北京オリンピック報告】

乳酸菌生成エキスの愛飲者であり、北京オリンピックにクロスカントリースキー日本代表として出場した宮沢大志選手(30歳)。B&S 本社に北京オリンピックのご報告にいらしていただき、オリンピックの様子や思いなどのお話をおうかがいしました。

【クロスカントリースキーとは】

ヨーロッパや北米で人気の「雪原のマラソン」とも呼ばれているスポーツ。専用のスキーとストックを使って滑走し、タイムを競う。上り・下り・平地がそれぞれ約3分の1の割合になっているコースを走るため、持久力や筋力、スキーの操作技能が求められる。競技種目はスキーを縦に操作するクラシカル競技と、スケートのように操作するフリー競技がある。また距離では1.0~1.5 kmの短距離のスプリント種目から、15~50 kmを滑る長距離系の種目まであり、大会ごとに実施種目が異なる。



——北京オリンピックに出場されるまでの道のりについて教えてください。

8年前にソチオリンピックに初めて出たときは、大学4年生だったこともあって、あまりこの競技について深く考えずにやっていました。その後、クロスカントリースキーを職業にしてから目指した平昌オリンピックには出場できませんでした。本当は、自分のスキー人生は平昌オリンピックで終わらせる予定でいたんですが、そのときに悔しすぎて、もう4年間、「北京オリンピックに出場する！」と決めてやってきました。

——目標にしていた北京オリンピックの地に立ったときは、どのようなお気持ちでしたか？

実は、北京オリンピックで引退することは決めていたので、日本代表選手に決まったときは、素直に嬉しかったです。実際のレース会場は風も強く、気温も-17℃と寒かったので、厳しい条件ではありましたが、とにかく全力で、自分の100%を出すことを目標に滑りました。

今回は平昌に出場できなかった経験からも、オリンピックがどういう舞台かわかった上で自分の競技人生を振り返りながら立ったオリンピックだったので、1つ1つの出来事が非常に楽しかったです。



——大きな決意のもとに参加したオリンピックだったのですね。

そうですね。決意もありましたし、社会人になってからのこの8年間、競技を通じて、クロスカントリースキーだけでなく色々な競技に仲間ができて、その仲間と同じ舞台に立って戦えたというのは、すごくいい思い出です。でも、今回はコロナの感染対策があったので、お世話になった方や家族が現地でオリンピックを観戦する場がなかったことはちょっと寂しかったですね。

【コラム】 オリンピックの気になる疑問 宮沢選手に聞いてみました！

◆ 競技中、応援や観客って見えますか？

結構、見えます。見ようとしている訳じゃないですが、視界には入ってきます。特に日の丸はわかりやすいですね。声援もよく聞こえています。特にオリンピックのような世界大会の会場では日本語が聞こえてくるのが少ないので、やっぱり耳に入ってきますね。

◆ 北京オリンピックのご飯はおいしかったですか？

残念ながら、あまりおいしくなかったです(笑)今回の北京オリンピックは選手村が3つあって、僕は「張家口」という場所の選手村だったんです。北京の選手村はおいしかったそうですが、僕の選手村はあんまり…。僕が選手村のメインダイニングに行ったのは1回だけで、ご飯はもっぱら日本選手団から提供されるものを食べていました。



——先日、引退を表明されましたが、心境の変化はありましたか？

選手ならではの節制生活から少し離れましたが、心境の変化はあまりないです。

北京オリンピックまでやるって決めてから、思うようにいかないこともありました。常に世界と比べて陥る不安は捨てて、今、自分ができる最高の環境で、最大のパフォーマンスを目指そうって頭を切り替えて練習してきました。その結果、オリンピックに出場することができたので、悔しい部分がないわけではありませんが、やりたいこと、やるべきことはやりきったという気持ちの方が強いですね。

——今後のご予定はいかがでしょうか。

今はフリーです。ずっと一つのことを続けてきたので、頭の整理もついていなくて、すぐに方向転換ができていない感じですね。ですが、ゆくゆくはクロスカントリースキーのコーチになれたらと思っています。

今、日本のクロスカントリースキーは、なかなか選手を育ててくれるコーチがいないんです。コーチとして生計を立てている人がほとんどいないので、社会人選手になるとトレーニングメニューなどは自分で考えてやらないといけない。やっぱりサポートがないと、どんなに才能のある選手でも、世界の舞台で活躍するのは難しいです。自分自身がそれで苦労して、悔しい思いをしているので、何とかそこを改善していきたいですし、自分も世界の舞台で活躍する選手を支える立場になりたいなと思っています。



——オリンピック期間中も乳酸菌生成エキスをお飲みいただいていたとのことですが、ご体感を聞かせてください。

競技柄、どうしても体が冷えるので、以前から風邪対策と腸のケアのために飲んでいました。

特に近年体感していたのは、自分自身の良い状態が常にキープできていること。年齢を重ねるにつれて、どうしてもこなせる練習量が減ってきたり、食べれなくなったりするのですが、それもなく疲労を早く回復することができたおかげで練習に集中できました。特に体づくりの夏は内臓疲労が起きやすいのですが、乳酸菌生成エキスを飲み始めてから、内臓が負けなくなり、食べたものをきちんと栄養吸収できたおかげで、体づくりできたので、本当に助けてもらいましたね。おかげで辞めたくなくなっちゃうくらいです（笑）



僕は、いつも夕食後にギョツとそのまま飲んでます。

——宮沢選手、ご来社ありがとうございました。これからのご活躍も期待しております。



←宮沢選手が実際に北京オリンピックで着用したゼッケンを、特別にプレゼントいただきました！
宮沢選手、ありがとうございます！